

## 景況感は製造業は改善、非製造業は悪化 ～先行きに不透明感～

### 目 次

	ページ
調査要領	1
1. 概 況 -----	2
2. 業 況 判 断 製造業は改善、非製造業は悪化	3
3. 売 上 製造業は悪化、非製造業は改善	3
4. 受 注 製造業、建設業とも改善	4
5. 経 常 利 益 製造業、非製造業とも改善	4
6. 在 庫 製品在庫は過剰感が低下	4
7. 販売価格・仕入価格 販売価格、仕入価格とも低下幅が拡大	5
8. 資金繰・借入金残高 借入金：製造業は減少	5
9. 雇 用 製造業は過剰感が低下	6
10. 設 備 投 資 製造業、非製造業とも同水準	6
11. 経営上の問題点 「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が上位	7

## 調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業 208 社、回答企業 102 社、回答率 49.0%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成 21 年 7 ~ 9 月実績及び平成 21 年 10 ~ 12 月予想。
- 調査時点** 平成 21 年 10 月下旬 ~ 11 月上旬。

### 業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	11	10.8	10	90.9
	織 維 ・ 縫 製	1	1.0	1	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	3	2.9	3	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	4	3.9	4	100.0
	窯 業 ・ 土 石	4	3.9	4	100.0
	金 属 ・ 機 械	16	15.7	15	93.8
	電 気 機 械	13	12.7	8	61.5
	印 刷 ・ そ の 他	5	4.9	5	100.0
計		57	55.9	50	87.7
非 製 造 業	建 設 業	10	9.8	10	100.0
	卸 売 業	16	15.7	13	81.3
	小 売 業	10	9.8	3	30.0
	運 輸 業	4	3.9	3	75.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	4.9	2	40.0
計		45	44.1	31	68.9
全 部 門 合 計		102	100.0	81	79.4

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ - ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

# 1 概況.....県内景況感は製造業では改善し、非製造業では悪化が続く

鳥取県企業動向調査によると、平成21年7～9月の「自社業況の総合判断」は、前期4～6月に比べ、製造業で電気機械や食料品などが改善し、非製造業で運輸業などが改善したため、全産業のBSIは16.5と前期(19.0)に比べ2.5ポイント改善した。また、前回調査時(7月)の7～9月予想(24.5)からは8.0ポイント改善している。

先行きの景況感は、21年10～12月は、製造業では金属・機械などは悪化幅が縮小し、電気機械は「好転」に転じることから、非製造業では同水準となるもの、全産業では悪化幅が縮小する予想(12.5)となっている。

## 1.業種別の景況

**製造業の景況感**は、7四半期連続の「悪化」ではあるが、前期比8.0ポイント改善し、2四半期連続で悪化幅が縮小している。  
(23.5 17.5)

**非製造業の景況感**は、前期比3.0ポイント悪化し、50四半期連続の「悪化」となった。  
(14.5 17.5)

## 2.売上高の景況

**売上高のBSI**は、製造業では電気機械などは減少幅が縮小したが、食料品は「減少」に転じ、金属・機械などは減少幅が拡大したことから若干悪化し、非製造業では小売業以外では減少幅が縮小したことから若干改善し、全産業では前期とほぼ同水準になった。  
(23.0 23.5)

## 3.受注高の景況

**受注高のBSI**は、電気機械などは減少幅が縮小し、建設業でも若干減少幅が縮小したことから、全産業では減少幅が2.5ポイント縮小した。  
(22.5 20.0)

## 4.経常利益の景況

**経常利益のBSI**は、製造業では電気機械や食料品などで減少幅が縮小し、非製造業では運輸業が増加に転じ、建設業などは減少幅が縮小したことから、全産業では7.5ポイント減少幅が縮小した。  
(20.5 13.0)

## 5.販売価格、仕入価格の景況

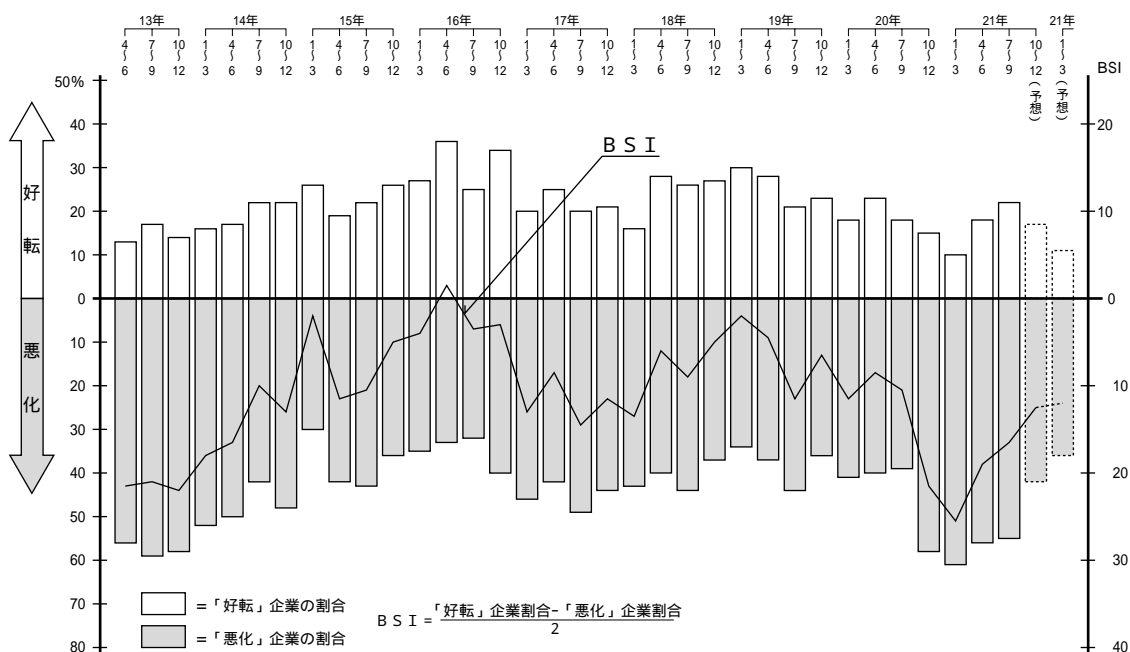
**販売価格のBSI**は、製造業、非製造業ともに低下幅が拡大したことから、全産業でも4.5ポイント低下幅が縮小した。  
(11.5 16.0)

**仕入価格のBSI**は、原油価格が前年に比べ低下している影響もあり、製造業では「低下」に転じ、非製造業ではほぼ同水準であったことから、全産業では3.5ポイント低下幅が拡大した。  
(1.0 4.5)

## 6.経営上の問題点

**経営上の問題点**(大きいものから2項目の選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の66%、「先行き見通し難」が40%、「過当競争」が25%、「販売価格の低下」が20%、「人件費の増加」が10%となった。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



## 2 業況判断.....製造業は改善、非製造業は悪化

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2は、21年7～9月は 16.5で、4～6月の 19.0より2.5ポイント改善し、また前回(21年7月)調査の先行き予想の 24.5よりも8.0ポイント改善した。

今後の予想のBSIは、10～12月は 12.5となり、22年1～3月は 12.0といずれも改善する予想である。

製造業の業況判断のBSIは、4～6月の 23.5から7～9月は、食料品が「好転」に転じ、電気機械などが悪化幅が縮小したことから、15.5と8.0ポイント改善し、2四半期連続で悪化幅が縮小している。先行き10～12月も金属・機械などは悪化幅が縮小し、

電気機械が「好転」に転じることから 8.5となり、22年1～3月も金属・機械は悪化幅が縮小し、電気機械は好転幅が拡大することから 5.0と引き続き悪化幅が縮小する予想となっている。

非製造業のBSIは、4～6月の 14.5から7～9月は、運輸業が好転に転じたが、建設業や小売業などが悪化幅が拡大したことから、17.5と3.0ポイント悪化した。先行き10～12月は、旅館・ホテルなどは悪化幅が縮小するが運輸業などが「悪化」に転じることなどから、17.5と同水準の予想である。22年1～3月は建設業などが悪化することから 21.0と悪化幅が拡大する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

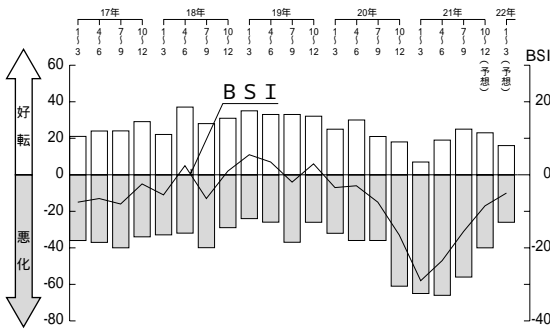
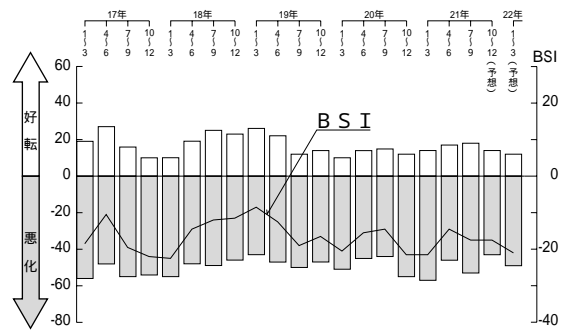


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



## 3 売上.....製造業は悪化、非製造業は改善

製造業は減少幅が拡大し、非製造業は減少幅が縮小した。

製造業は、電気機械などは減少幅が縮小したが、食料品が「減少」に転じ、金属・機械や紙・紙加工品などで減少幅が拡大したことなどから、7～9月のBSIは、4～6月の 24.0から 26.5と減少幅が拡大した。10～12月は、食料品が「増加」に転じ、電気機械などで減少幅が縮小することから、11.0と減少幅が縮小する予想となっている。

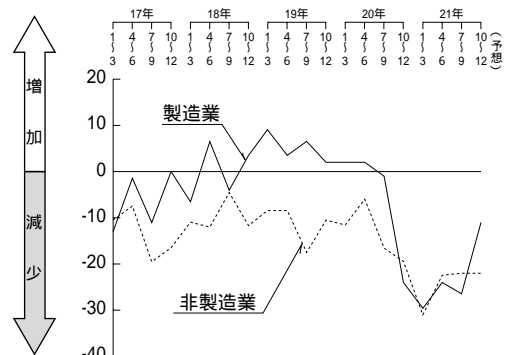
非製造業は、21年7～9月のBSIは小売業以外では減少幅が縮小したことから、4～6月の 22.5から 20.0と減少幅が縮小した。10～12月は小売業などで減少幅が縮小するが、建設業や運輸業で減少幅が拡大することから、20.0と同水準の予想である。

なお、売上高の回答の集計は、全産業(回答のあった44社の加重平均)では、21年7～9月の実績は製造業、非製造業ともに減少したことから前年同期比では13.2%の減少となった。10～12月の予想は、製造業・非製造業ともに引き続き減少することから、同5.2%減少する予想となっている。

産業別にみると、製造業(27社)は7～9月の実績は、金属・機械や電気機械などが減少したことから、

同18.6%の減少となった。10～12月の予想は、金属・機械などが引き続き減少することから同6.6%減少する予想である。非製造業(17社)は、7～9月の実績は建設業を始めすべての業種で減少したことから同13.2%の減少となった。10～12月の予想も小売業以外のすべての業種で減少することから同5.2%減少する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



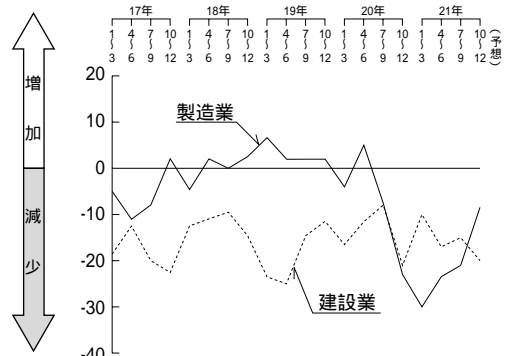
## 4 受注.....製造業、建設業とも改善

製造業、建設業ともに減少幅が縮小した。

製造業は、繊維・縫製や印刷・その他などで減少幅が拡大し、木材・木製品などで増加幅が縮小したが、電気機械などで減少幅が縮小したことなどから、21年7～9月の受注高BSIは 21.0と4～6月の 23.5から2.5ポイント改善した。10～12月は、窯業・土石で減少幅が拡大するが、電気機械や金属・機械、紙・紙加工品などで減少幅が縮小することからBSIは 8.5と改善する予想である。

建設業の受注高BSIは、21年4～6月の 17.0から7～9月は 15.0と減少幅が縮小した。10～12月は 20.0と再び減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



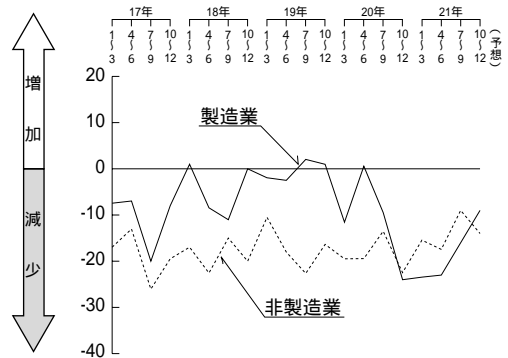
## 5 経常利益.....製造業、非製造業ともに改善

製造業、建設業ともに減少幅が縮小した。

製造業は、繊維・縫製などで減少幅が拡大したが、電気機械や食料品、印刷・その他で減少幅が縮小したことから、BSIは21年4～6月の 23.0から7～9月は 16.0と減少幅が縮小した。10～12月は金属・機械や電気機械などで減少幅が縮小し、食料品が増加に転じることから 9.0と減少幅が縮小する予想である。

非製造業は、旅館・ホテルなどで減少幅が拡大したが、運輸業が増加に転じ、建設業で減少幅が縮小したことから、21年7～9月のBSIは 9.0と4～6月の 17.5から8.5ポイント改善した。10～12月は小売業が増加に転じるが、運輸業で増加幅が縮小し、卸売業などで減少幅が拡大することから、14.0と再び減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



## 6 在庫.....製品在庫は過剰感が低下

製品在庫は過剰感が低下し、商品在庫はほぼ同水準で推移した。

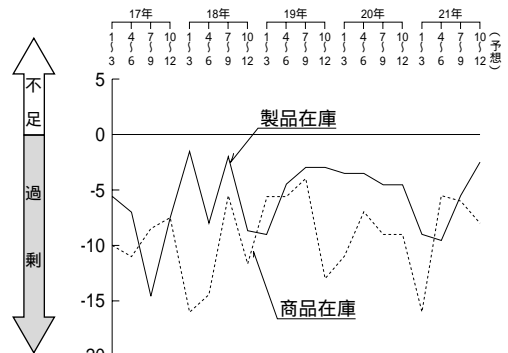
製品在庫のBSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」は木材・木製品で過剰感が上昇したが、食料品が「不足」に転じ、繊維・縫製や金属・機械などで過剰感が低下したことなどから、21年4～6月の 9.5から7～9月は 5.5と過剰感が低下した。10～12月は金属・機械や電気機械などで過剰感が低下することから、BSIは 2.5と過剰感が低下する予想となっている。

商品在庫のBSIは、21年7～9月は小売業で不足感が低下したが、4～6月の 5.5とほぼ同水準の 6.0となった。10～12月は卸売業で過剰感が上昇することから 8.0と2.0ポイント過剰感が上昇する予想である。

製造業の原材料在庫のBSIは、繊維・縫製や木材・木製品で不足感が上昇し、金属・機械や印刷・その他で過剰感が低下したことから、21年7～9月は 5.0と4～6月の 7.0から2.0ポイント過剰感が低下した。

10～12月は、木材・木製品が過剰に転じ、紙・紙加工品や電気機械で過剰感が低下することなどから、BSIは 3.5と過剰感が低下する予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



## 7 販売価格・仕入価格.....販売価格、仕入価格とも低下幅が拡大

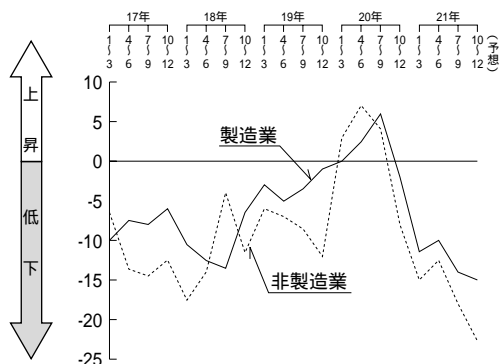
販売価格は4四半期連続で低下。

販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、製造業、非製造業ともに低下幅が拡大したことから、21年7～9月は 16.0と4～6月の 11.5から4.5ポイント低下幅が拡大した。10～12月のBSIは 2.5ポイント低下幅が拡大し 18.5となる予想である。

製造業の販売価格のBSIは、電気機械などで低下幅が縮小したが、金属・機械や食料品などで低下幅が拡大したことなどから、4～6月の 10.0から7～9月は 14.0と低下幅が拡大した。10～12月のBSIは 15.0と低下幅が拡大する予想である。

非製造業の販売価格の7～9月のBSIは、小売業や卸売業、建設業で低下幅が拡大したことなどから、18.0と低下幅が拡大した。10～12月のBSIは 22.5とさらに低下幅が拡大する予想である。

図 - 8 販売価格のBSI



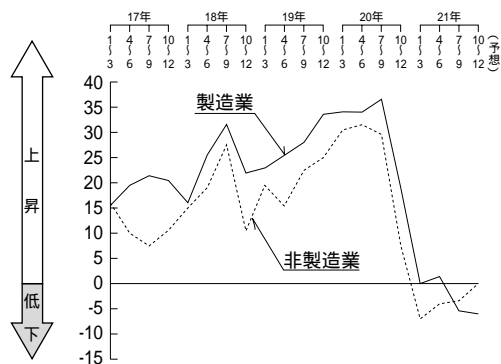
仕入価格は3四半期連続で低下。

原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、製造業は「低下」に転じ、非製造業はほぼ同水準となったことから、21年7～9月は 4.5と4～6月から3.5ポイント低下幅が拡大した。10～12月のBSIは 3.5となる予想である。

製造業の仕入価格のBSIは、金属・機械や食料品、印刷・その他が低下に転じ、7～9月は4～6月の+1.5から 5.5と7.0ポイント「低下」に転じた。10～12月のBSIは 6.0とほぼ同水準の予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、建設業が上昇に転じたが、小売業や運輸業などで低下幅が拡大し、7～9月のBSIは 3.5と4～6月の 4.0とほぼ同水準となった。10～12月のBSIは±0.0と3.5ポイント低下幅が縮小する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



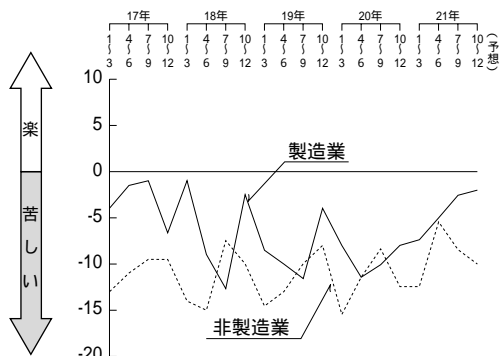
## 8 資金繰り・借入金残高.....借入金：製造業は減少

資金繰りは、製造業は改善。非製造業は悪化。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は繊維・縫製や紙・紙加工品、電気機械などが改善したことなどから、21年4～6月の 5.0から7～9月は 2.5と2.5ポイント改善した。10～12月は 2.0とほぼ同水準の予想である。

非製造業のBSIは、7～9月は旅館・ホテルや建設業などが悪化したことから 8.5と4～6月の 5.5から3.0ポイント悪化した。10～12月は小売業が悪化することから 10.0と1.5ポイント悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰りのBSI

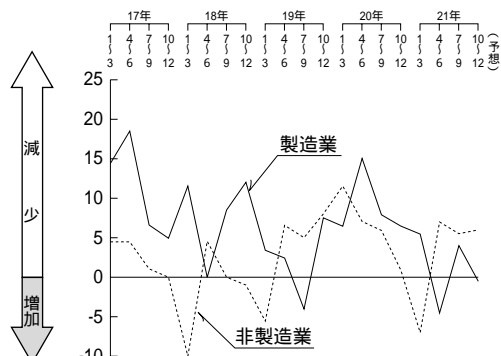


借入金残高は、製造業は「減少」に転じ、非製造業は減少幅が縮小した。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は繊維・縫製と紙・紙加工品が「減少」に転じたことなどから、21年4～6月の 4.5から7～9月は+4.0と減少に転じた。10～12月は 0.5と再度増加に転じる予想である。

非製造業の7～9月のBSIは、運輸業や小売業で減少幅が縮小したことなどから4～6月の+7.0から+5.5と減少幅が縮小した。10～12月は+6.0とほぼ同水準の予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



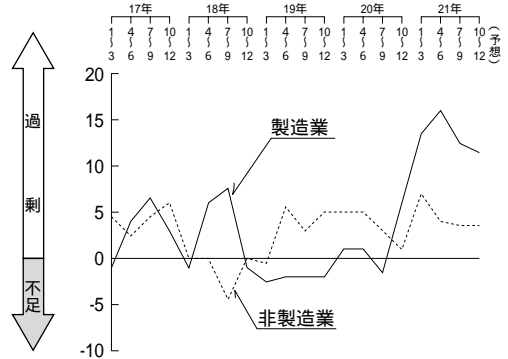
## 9 雇 用..... 製造業は過剰感が低下

常用雇用者BSIは、製造業で過剰感が低下し、非製造業ではほぼ同水準であった。

製造業の21年7～9月の常用雇用者BSI(過剰-不足)÷2は、印刷・その他で過剰感が上昇したが、電気機械や窯業・土石などで過剰感が低下したことから、4～6月の+16.0から3.5ポイント過剰感が低下し+12.5となった。10～12月のBSIは、食料品で不足感が上昇することから、+11.5と過剰感が若干低下する予想となっている。

非製造業のBSIは、21年4～6月の+4.0から、7～9月は卸売業などで過剰感が上昇したが、旅館・ホテルが「不足」に転じ、運輸業で不足感が上昇したことなどから、+3.5とほぼ同水準であった。10～12月のBSIは、運輸業で不足感が低下し、卸売業で過剰感が低下することから+3.5と同水準の予想である。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



## 10 設備投資..... 前年とほぼ同水準

21年7～9月に設備投資をした企業は回答企業の31%で前年同期実績(30%)とほぼ同水準であった。10～12月の設備投資計画は32%で前年同期実績(37%)を5ポイント下回る計画となっている。

製造業の21年7～9月の設備投資の実施割合は、紙・紙加工品や窯業・土石、食料品などが上昇したことから40%と前年実績(38%)を2ポイント上回った。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が65%、「合理化・省力化」が35%、「増産・能力増強」が26%、「研究開発」と「新製品の生産」がともに9%だった。10～12月の実施計画は39%と前年同期実績(48%)を9ポイント下回る計画である。

非製造業の21年7～9月の実施割合は、運輸業などが低下したが、旅館・ホテルなどが上昇したことから20%と前年実績(21%)とほぼ同水準であった。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が78%、「販売力の増強」が33%、「合理化・省力化」が22%、「新規事業(店舗移転含む)」「管理業務の合理化・省力化」がともに11%だった。10～12月の実施計画は24%と前年実績(25%)とほぼ同水準の計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績: 単位%

	21年4～6月 実 績	21年7～9月 実 績	21年10～12月 計 画
全 産 業	28(34)	31(30)	32(37)
食 料 品	50(38)	45(33)	55(44)
織 維 ・ 縫 製	0(40)	0(0)	0(50)
木 材 ・ 木 製 品	0(0)	33(20)	0(0)
紙 ・ 紙 加 工 品	50(50)	25(0)	25(40)
窯 業 ・ 土 石	0(0)	25(0)	0(25)
金 属 ・ 機 械	36(64)	50(67)	44(64)
電 気 機 械	54(64)	54(69)	62(57)
印 刷 ・ そ の 他	17(20)	0(0)	0(33)
製 造 業	36(45)	40(38)	39(48)
建 設 業	13(15)	0(8)	0(17)
卸 売 業	5(11)	13(18)	13(16)
小 売 業	50(44)	40(30)	40(45)
運 輸 業	25(50)	0(33)	50(50)
旅 館 ・ ホ テ ル	25(0)	60(40)	60(20)
非 製 造 業	19(21)	20(21)	24(25)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

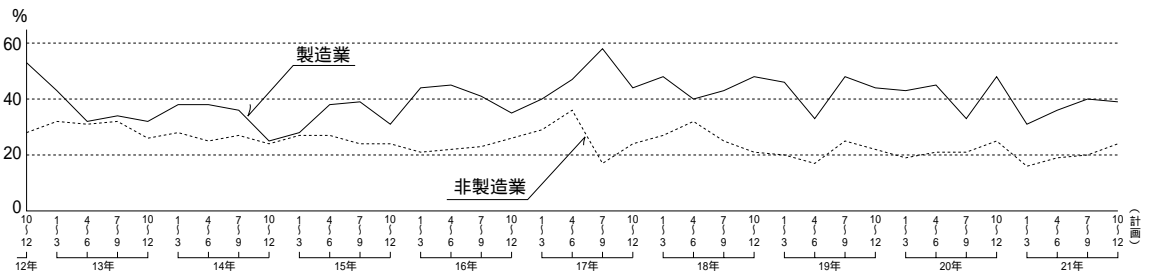
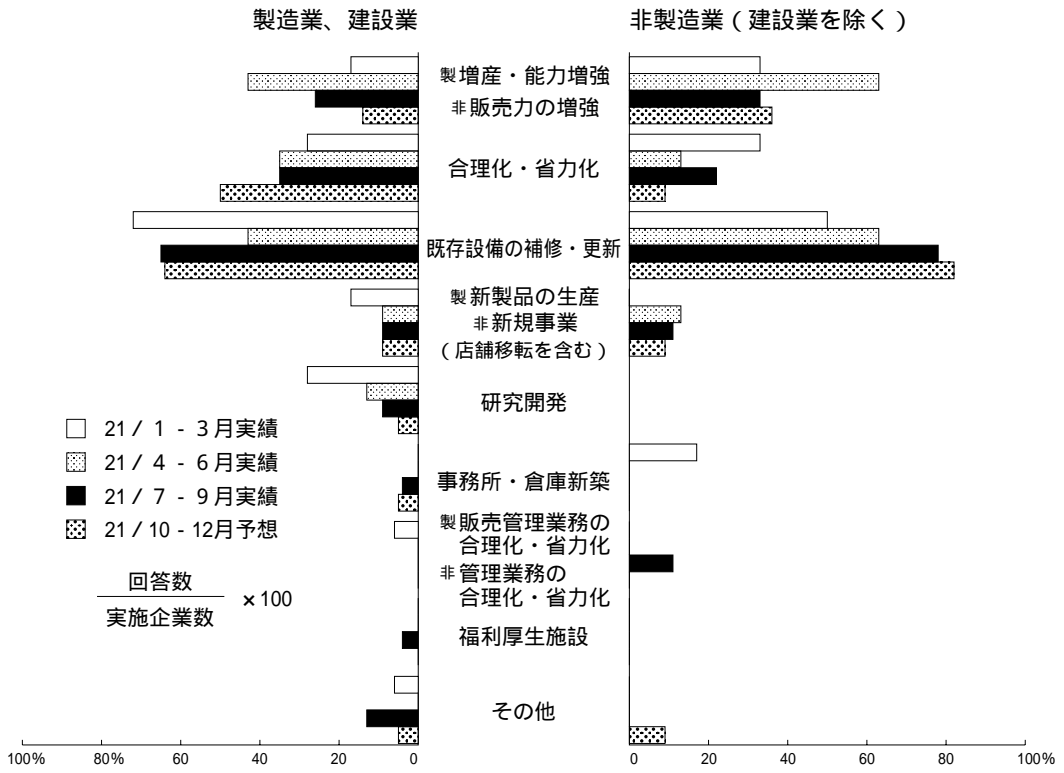


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



## 11 経営上の問題点……「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が上位

21年7～9月の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「売上・受注の減少」66%（21年4～6月68%）、「先行き見通し難」40%（同47%）、「過当競争」25%（同24%）、「販売価格の低下」20%（同22%）、「人件費の増加」10%（同5%）、「仕入価格の上昇」9%（同9%）が上位項目だった。

21年10～12月は、景気動向の不透明感を受け、「売上・受注の減少」や「先行き見通し難」などが増加する予想となっている。

製造業の上位項目は「売上・受注の減少」61%（21年4～6月71%）、「先行き見通し難」44%（同56%）、「過当競争」25%（同8%）、「販売価格の低下」16%（同15%）、「仕入価格の上昇」12%（同12%）の順だった。10～12月は「売上・受注の減少」や「先行き見通し難」、「資金繰り難」が上昇する予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」71%（21年4～6月63%）、「先行き見通し難」36%（同37%）、「諸経費の増加」27%（同2%）、「販売価格の低下」24%（同29%）、「人件費の増加」13%（同6%）、「資金繰り難」

11%（同2%）の順だった。21年10～12月は「先行き見通し難」などが増加する予想である。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

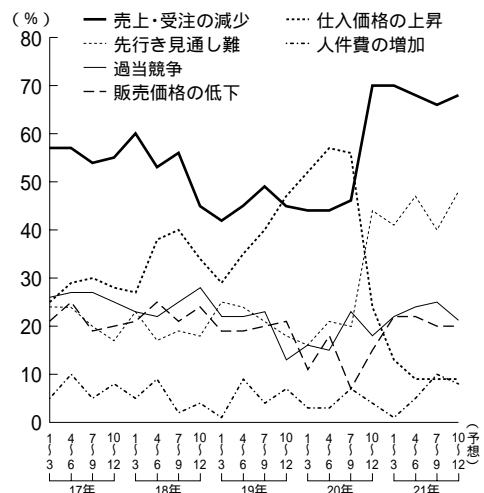




表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	21年4～6月実績				21年7～9月実績				21年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		18	26	56	19.0	22	23	55	16.5	17	41	42	12.5
食料品		30	30	40	5.0	46	18	36	5.0	18	64	18	0.0
繊維・縫製		0	33	67	33.5	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		17	17	66	24.5	25	0	75	25.0	25	50	25	0.0
窯業・土石		50	25	25	12.5	50	25	25	12.5	25	50	25	0.0
金属・機械		14	7	79	32.5	0	19	81	40.5	13	24	63	25.0
電気機械		8	0	92	42.0	23	23	54	15.5	46	16	38	4.0
印刷・その他		33	0	67	17.0	40	20	40	0.0	0	60	40	20.0
製造業		19	15	66	23.5	25	19	56	15.5	23	37	40	8.5
建設業		27	46	27	0.0	20	20	60	20.0	10	50	40	15.0
卸売業		11	31	58	23.5	19	19	62	21.5	6	31	63	28.5
小売業		20	50	30	5.0	10	50	40	15.0	20	50	30	5.0
運輸業		25	0	75	25.0	50	25	25	12.5	0	75	25	12.5
旅館・ホテル		0	25	75	37.5	0	40	60	30.0	0	60	40	20.0
非製造業		17	37	46	14.5	18	29	53	17.5	9	47	44	17.5

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	21年4～6月実績				21年7～9月実績				21年10～12月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		18	18	64	23.0	17	19	64	23.5	21	29	50	14.5
食料品		50	20	30	10.0	27	27	46	9.5	46	27	27	9.5
繊維・縫製		0	25	75	37.5	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	33	34	33	0.0	33	67	0	16.5
紙・紙加工品		17	17	66	24.5	0	25	75	37.5	0	75	25	12.5
窯業・土石		50	0	50	0.0	50	25	25	12.5	25	50	25	0.0
金属・機械		21	0	79	29.0	6	6	88	41.0	13	19	68	27.5
電気機械		0	8	92	46.0	8	15	77	34.5	46	0	54	4.0
印刷・その他		17	0	83	33.0	0	40	60	30.0	0	40	60	30.0
製造業		20	12	68	24.0	14	19	67	26.5	26	26	48	11.0
建設業		13	47	40	13.5	30	20	50	10.0	10	40	50	20.0
卸売業		11	21	68	28.5	13	25	62	24.5	6	31	63	28.5
小売業		20	20	60	20.0	20	10	70	25.0	30	20	50	10.0
運輸業		25	0	75	25.0	25	25	50	12.5	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		25	0	75	25.0	20	20	60	20.0	20	40	40	10.0
非製造業		15	25	60	22.5	20	20	60	20.0	13	34	53	20.0

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	21年4～6月実績				21年7～9月実績				21年10～12月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		19	21	60	20.5	24	26	50	13.0	19	40	41	11.0
食料品		20	20	60	20.0	27	36	37	5.0	18	73	9	4.5
繊維・縫製		0	75	25	12.5	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		50	0	50	0.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		50	0	50	0.0	25	25	50	12.5	25	25	50	12.5
窯業・土石		75	25	0	37.5	75	0	25	25.0	50	25	25	12.5
金属・機械		7	14	79	36.0	7	7	86	39.5	20	13	67	23.5
電気機械		0	8	92	46.0	15	31	54	19.5	31	23	46	7.5
印刷・その他		17	17	66	24.5	40	20	40	0.0	20	40	40	10.0
製造業		18	18	64	23.0	23	22	55	16.0	25	32	43	9.0
建設業		13	13	74	30.5	44	0	56	6.0	22	33	45	11.5
卸売業		21	26	53	16.0	13	37	50	18.5	6	31	63	28.5
小売業		20	50	30	5.0	20	50	30	5.0	20	80	0	10.0
運輸業		25	25	50	12.5	75	25	0	37.5	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	0	40	60	30.0	0	40	60	30.0
非製造業		19	27	54	17.5	25	32	43	9.0	11	50	39	14.0

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	21年4～6月実績				21年7～9月実績				21年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		9	59	32	11.5	7	54	39	16.0	2	59	39	18.5
食料品		0	90	10	5.0	0	64	36	18.0	0	91	9	4.5
繊維・縫製		0	75	25	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	50	50	25.0	0	33	67	33.5	0	33	67	33.5
紙・紙加工品		33	50	17	8.0	50	25	25	12.5	25	50	25	0.0
窯業・土石		25	75	0	12.5	50	50	0	25.0	0	100	0	0.0
金属・機械		29	42	29	0.0	7	53	40	16.5	0	53	47	23.5
電気機械		0	31	69	34.5	0	46	54	27.0	0	54	46	23.0
印刷・その他		0	67	33	16.5	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
製造業		12	56	32	10.0	9	54	37	14.0	2	66	32	15.0
建設業		0	67	33	16.5	10	40	50	20.0	10	40	50	20.0
卸売業		16	58	26	5.0	6	63	31	12.5	0	50	50	25.0
小売業		0	70	30	15.0	0	40	60	30.0	0	40	60	30.0
運輸業		0	75	25	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	50	50	25.0	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
非製造業		6	63	31	12.5	4	56	40	18.0	2	51	47	22.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	21年4～6月実績				21年7～9月実績				21年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		18	62	20	1.0	16	59	25	4.5	14	65	21	3.5
食料品		50	20	30	10.0	18	46	36	9.0	18	55	27	4.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	33	67	0	16.5	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		0	83	17	8.5	25	50	25	0.0	25	75	0	12.5
窯業・土石		25	75	0	12.5	50	50	0	25.0	25	75	0	12.5
金属・機械		36	43	21	7.5	20	33	47	13.5	13	33	54	20.5
電気機械		0	77	23	11.5	0	85	15	7.5	0	92	8	4.0
印刷・その他		17	83	0	8.5	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
製造業		20	63	17	1.5	16	57	27	5.5	13	62	25	6.0
建設業		13	54	33	10.0	25	62	13	6.0	25	62	13	6.0
卸売業		21	63	16	2.5	25	56	19	3.0	19	68	13	3.0
小売業		0	80	20	10.0	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
運輸業		25	25	50	12.5	0	50	50	25.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		25	75	0	12.5	20	80	0	10.0	40	60	0	20.0
非製造業		15	62	23	4.0	16	61	23	3.5	16	68	16	0.0

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	17年				18年				19年				20年				21年			
																					予想
製 造 業	1 売上・受注の減少	50	48	47	46	55	38	52	36	29	37	37	35	39	34	43	68	70	71	61	65
	2 先行き見通し難	26	19	18	16	22	20	19	20	24	25	23	20	11	25	23	48	50	56	44	47
	3 過当競争	23	20	24	18	21	12	15	20	16	14	17	8	7	8	13	9	11	8	25	23
	4 販売価格の低下	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	17	24	11	21	7	11	22	15	16	16
	5 仕入価格の上昇	31	38	40	41	33	50	48	42	35	46	50	55	66	60	68	32	17	12	12	12
	6 諸経費の増加	10	6	16	15	16	25	11	12	18	18	21	20	14	26	16	4	4	5	12	7
	7 人件費の増加	10	16	9	9	7	13	5	7	2	11	8	10	4	4	9	5	2	3	7	7
	8 金利負担の増加	2	2	4	4	2	5	2	7	5	2	6	0	2	4	0	5	4	5	4	4
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	64	66	61	67	65	69	62	54	53	53	60	55	49	55	50	73	70	63	71	71
	2 先行き見通し難	22	29	21	18	24	14	18	16	26	24	18	16	22	16	17	39	30	37	36	49
	3 諸経費の増加	7	10	9	12	12	9	11	23	10	9	10	8	10	16	13	12	2	2	27	18
	4 販売価格の低下	25	17	16	23	20	29	20	28	19	20	22	18	12	14	6	20	23	29	24	24
	5 人件費の増加	0	3	2	7	2	5	2	2	0	7	0	4	2	2	4	2	0	6	13	9
	6 資金繰り難	14	10	14	15	14	12	13	9	14	9	10	16	16	8	15	14	16	2	11	11
	7 仕入価格の上昇	22	20	21	13	20	26	31	25	24	24	32	39	37	53	42	16	9	6	4	4
	8 過当競争	29	34	29	33	25	33	36	37	28	31	28	18	27	22	35	27	36	42	2	2

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

# 法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。  
もちろん専用ソフトは必要ありません。  
低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス  
「Pay-easy(ペイジー)」対応  
税金等の各種料金をインターネットバンキングで  
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

## サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—
外為Webサービス	外国送金受付サービス	○	○
	輸入信用状受付サービス	○	○

## サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

	月額基本手数料(消費税込)
フルWeb版	3,150円
エコノミーWeb版	1,050円
フルWeb版+外為Webサービス	4,200円
エコノミーWeb版+外為Webサービス	2,100円

サービスに関するお問い合せ、お申込みは

<とりぎん>ビジネスWebサポートセンター



0120-86-4513

受付時間 平日/午前9時～午後7時 ※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

平成21年12月15日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています